


# 生活

## Living Environment Studies

生活科は、身近な人々、社会及び自然などの対象を、自分自身や自分の生活と関わらせて考え、その中での気づきを実生活に生かし、よりよい生活を自ら創り出していくための資質・能力を身に付けていく教科です。

そのためには、対象に直接働きかけたり、その中で気付いたことなどを自分なりに表現したりする具体的な活動や体験を繰り返し、対象との関わりを深め、気づきの質を高められるような学習活動の充実を図ることが大切です。

### 【生活科のページで使用されている用語解説】

気づき	児童の主体的な活動や体験によって生まれる、対象に対する一人一人の認識。知的な側面だけではなく、愛着など情意的な側面も含まれる。
気づきの質が高まる	<p>活動や体験を繰り返したり、友達など他者と交流したりすることなどを通して、対象との関わりを深めることに伴って、次のような気づきに変容していくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・無自覚な気づきが自覚化された気づきになること</li></ul> <p>&lt;例&gt; アサガオのつるが伸びると、葉の数も増えるんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一人一人に生まれた個別の気づきが関連付けられた気づきになること</li></ul> <p>&lt;例&gt; Aの気づき→土が乾いていると葉がしおれている。 A  B Bの気づき→土が湿っていると葉がしおれていない。 関連付けられた気づき→土が乾いていたなら、 水をあげるサインだね。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対象への気づきのみならず、自分自身についての気づきが生まれること</li></ul> <p>&lt;例&gt; アサガオの様子を見ながら、一生懸命お世話をしたので、大きい花が咲きました。</p>
思いや願い	学習対象に対しての憧れ。学習対象に関わる楽しさ。学習対象に対して実現したいこと。 など
学習対象	具体的な活動や体験を通して、児童が関わる対象。 ①学校の施設 ②学校で働く人 ③友達 ④通学路 ⑤家族 ⑥家庭 ⑦地域で生活したり働いたりしている人 ⑧公共物 ⑨公共施設 ⑩地域の行事・出来事 ⑪身近な自然 ⑫身近にある物 ⑬動物 ⑭植物 ⑮自分のこと

## 1 単元のつくり方

生活科は、第1章の2で示すBパターン単元の構想が多くなります。単元を構想するにあたっては、体験活動と表現活動を繰り返しながら、対象との関わりを深め、対象や自分自身についての気づきの質を高めていくことが大切です。気づきの質を高めることができるよう、活動や体験を充実させていきましょう。特に、第1学年の前半の単元を構想する際には、スタートカリキュラムを参考にしましょう。 **P66**

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント

(単元に入る前)

- これまでの経験や学びをつなげられるよう、幼稚園等や家庭での体験に関する情報を収集しておく。
- 学習対象に興味・関心をもてるよう、学習対象に関連する作品や写真などを教室に掲示したり、話題に取り上げたりする。
- 一人一人が学習対象への思いや願いをもてるよう、学習対象に関わる資料等を見たり、触れ合ったりする機会を設定する。
- 単元の課題を見出せるよう、一人一人の思いや願いを基に、クラス全体の思いや願いに包括していく。
- 単元の課題の実現に向けて、次時の活動の見通しをもてるよう、活動に関わる写真や身近にある様々な材料を準備する。

- 学習対象との関わりを深めたり、新たな気づきを基に考えたりできるよう、多様な学習活動を設定する。

- 気づきを自覚したり、活動の発展や新たな気づきにつなげたりできるよう、多様な方法で表現する機会を設定する。

- 自分と友達との気づきを比較・関連付けたり、新たな気づきをもったりできるよう、互いの活動を見合ったり、交流したりする機会を設定する。

- 気づいたことや考えたことを自分なりに表現できるように、多様な表現方法を提示する。

- 自分の成長やよさなどに気づけるよう、学習の過程や活動中の写真、学習で使ったものや作ったものなどを掲示する。

**重要：単元・単位時間のすべてに関わること**

- 自身の学びや変容を自覚したり、次の学びにつなげたりできる学習の振り返りをさせる。

### 過程と基本的な学習活動

#### 1 学習対象に対して思いや願いをもつ。

- ◇学習対象と出会う。
  - ◇学習対象について気付いたことや思ったことを伝えたり、話し合ったりする。
  - ◇単元の課題をつかむ。
- 【単元の課題】**  
**〈単元を通して実現したい思いや願い〉**
- ◇単元の課題の実現に向けての学習対象との関わり方を考える。

#### 2 具体的な活動や体験をする。

##### 単位時間

【めあて】

- ◇学習対象と関わる。
- ◇自分で気付いたことや考えたことを表現する。
- ◇グループやクラス全体で気付いたことや考えたことを伝え合う。

【振り返り】

##### 単位時間

【めあて】

- ◇新たな気づきを基に、再び学習対象と関わる。
- ◇自分で気付いたことや考えたことを表現する。
- ◇グループやクラス全体で気付いたことや考えたことを伝え合う。

【振り返り】

##### 単位時間

##### 単位時間

気づきの質の高まり

#### 3 活動や気づき、考えについて振り返る。

- ◇単元を通して、気付いたことや考えたことをまとめたり、友達に伝えたりする。
- ◇思いや願いの実現に向けての活動を通して、自分の成長やよさを振り返る。

◇**単元全体の振り返り** (個人)

## 小学校 第1学年

### 「つくろう あそぼう」(全17時間計画)

【目標】 身近にある自然物や材料を使って、おもちゃや遊びを工夫することを通して、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

(単元に入る前)

- ◇休み時間等を利用して、幼稚園等の在園時に、秋の自然物を利用して作ったおもちゃやそれを使った遊びを聞き、情報を得ておく。
- ◇木の実など秋の自然物で作った飾りなどを教室に置いておく。

### 1 学習対象に対して思いや願いをもつ。

- ◇これまでの体験を出し合う。
- ◇身近にある自然物や材料を使って遊ぶ。
- ◇遊ぶ活動を通して、気付いたことや思ったことなどを伝えたり、話し合ったりする。
  - ・楽しいおもちゃを作りたい。
  - ・たくさんの友達やいろいろな人と遊びたい。
  - ・友達と一緒におもちゃのお店を開きたい。
- ◇単元の課題をつかむ。

**【単元の課題】 年長さんを招待して、自分たちで作ったおもちゃを使って遊びの会を開こう。**

- ◇どのようなおもちゃを作りたいか、どのようなお店にしたいかを考える。

### 2 具体的な活動や体験をする。

- ◇お店ごとに、作りたいおもちゃや必要な物について話し合おう。
- ◇みんなでおもちゃを作ろう。
- ◇みんなが楽しく遊べるルールを考えよう。
- ◇グループで試し遊びをしよう。
- ◇もっとおもちゃを工夫しよう。
- ◇年長さんを招待して一緒に遊ぼう。



## 小学校 第2学年

### 「つたわる 広がる わたしの生活」(全14時間計画)

【目標】 地域の人々と関わったことを家の人など身近な人々に伝え合う活動を通して、伝えたいことや伝え方を選び、地域の人々と関わることの楽しさが分かるとともに、進んで交流することができるようにする。

(単元に入る前)

- ◇児童から家族と出掛けたことのあるお店を聞き、情報を得ておく。
- ◇地域の人々と関わった学習内容をまとめた掲示物を教室に貼っておく。

### 1 学習対象に対して思いや願いをもつ。

- ◇地域で関わった人々の姿や話したことなどを思い出す。
- ◇地域で関わった人々のことについて、心に残っていることを伝え合う。
  - ・〇〇屋の□□さんは、朝早くから一生懸命おかしを作っていると聞いた。
  - ・警察の△△さんは、毎日地域の人が事故に遭わないように、交通当番しながら見守ってくれている。
- ◇単元の課題をつかむ。

**【単元の課題】 地域で働いている人のすばらしさを、家の人など身近な人々に発表しよう。**

- ◇家の人など身近な人々に、地域で関わった人々のことについて伝えたいことを考える。



### 2 具体的な活動や体験をする。

- ◇グループごとに、伝えたいことや伝え方について話し合おう。
- ◇伝えたいことを新聞やポスターにまとめよう。
- ◇お互いに新聞やポスターを見合せて、良い点や工夫する点について伝え合おう。
- ◇分かりやすい発表にするために、さらに情報を集めたり、伝え方を工夫しよう。
- ◇地域で働いている人について、家の人などに発表しよう。

### 3 活動や気付き、考えについて振り返る。

- ◇単元(おもちゃ作りや遊びの会)を通して、気付いたことや考えたことを絵本などにまとめたり、友達に伝えたりする。
- ◇活動を通して活用したワークシートや写真などを基に、自分の成長やよさなどを振り返る。

- ・ルールを簡単にしたら、年長さんが喜んでくれて、嬉しかった。
- ・他のグループの友達から、もっと楽しくするヒントを教えてもらって、もっと面白いおもちゃを作ることができた。
- ・友達と一緒に、力を合わせて準備して楽しかった。
- ・年長さんが1年生になったら、また仲良くしたいな。

### 3 活動や気付き、考えについて振り返る。

- ◇単元(地域の人々との関わり、グループでの活動、発表会など)を通して、気付いたことや考えたことをワークシートにまとめたり、友達に伝えたりする。
- ◇活動を通して活用したワークシートや写真などを基に、自分の成長やよさなどを振り返る。

- ・地域にはいろいろな人が働いていて、私たちの暮らしを楽しくしたり、守ってくれたりしていることが分かった。
- ・働いている人のすばらしさが伝わるように、絵や写真を使ったポスターを作って発表することができた。
- ・地域で働いている人ともっと話をして、仲良くなりたい。

## 2 単位時間の作り方（「であう」過程）【例】

「であう」過程では、学習対象との関わりを通して、興味や関心を高めるとともに、学習対象について気付いたことなどを伝え合う活動を設定し、単元を通して実現したい思いや願いをもたせ、「はたらきかける」過程への意欲につなげましょう。内容によっては、単位時間が複数時間にまたがる場合があります。

### 【指導のポイント】

#### 【学習対象に関連する資料の準備】

○資料等については、低学年の発達の特徴を踏まえた写真や絵などを準備する。

#### 【話題の取り上げ方】

○児童の日常的な会話や日記などを基に、具体的な言葉を問い掛ける。

<例>

◆「自分の住んでいる町にどんなお店があるのかな。」など。

#### 【「めあて」の設定】

○基本的に単元のスタートにおいては、「活動・テーマ」の要素を含んだめあての設定が多くなる。

<例>

◆「〇〇をさがそう」

◆「〇〇をみつけよう」など。

#### 【意欲を高める言葉掛け】

○児童の発見や気付きを共感的に受け止めたり、周囲の児童にも伝わるような言葉掛けをする。（リアクション、声の大きさ）

<例>

◆「すごいものを見つけたね。」

◆「〇〇ちゃんが△△に気付いたよ。」など。

#### 【交流する場の設定】

○児童の実態や発達の特徴を踏まえ、学習対象に関連するものなどを用いながら、言葉や絵などで伝え合わせる。

#### 【振り返りの工夫】

○次時への思いや願いをもてるような振り返りの視点を示す。

<例>

◆これからしてみたいこと

◆みんなで楽しみたいこと など。

○児童の発達の特徴を踏まえ、言葉だけでなく絵で表現させたり、意欲が増すような見出しにしたりするなどの振り返りカード等を準備する。

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 児童のこれまでの生活経験や学び、日頃の児童の遊びや生活の様子を基に、学習対象に関連するものや写真などの資料を提示する。
- 学習対象について知っていることや体験していることを話題に取り上げる。
- 本時の学習のめあてを、児童の思いや願いを踏まえて設定する。

#### 【めあて】

#### 2 学習対象と関わる。

- 学習対象への興味や関心が高まるような出合わせ方を工夫し、学習対象とじっくり関わる機会を設定する。
- 学習対象への興味・関心を確認したり、活動や体験への意欲を高めたりする言葉を掛ける。

#### 3 学習対象について見付けたことや気付いたことを伝え合い、課題をつかむ。

- 発見や考え、感想などを交流する場を設定する。
- 一人一人の思いや願いを把握し、気付いたことなどを全体で共有できるように、児童の気付きを板書し、可視化する。
- 児童の気付きをキーワードに、単元の課題を設定する。

#### 【単元の課題】

〈単元を通して実現したい思いや願い〉

#### 4 本時の学習の振り返りをする。

- 思いや願いの実現への意欲につなげられるような言葉を掛ける。
- 活動を基に、気付いたことや感想などを振り返りカードに書かせる。
- 気付いたことや感想などを発表するように促す。

#### 単位時間の振り返り

## 小学校 第1学年 「つくろう あそぼう」

### 【ねらい】

秋の自然物や身の回りにある材料を使って遊ぶことを通して、おもちゃを作ることへの意欲やみんなで遊ぶことへの期待をもつことができるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 秋の自然物や身の回りにある材料を使って遊んだ経験や知っていることを話題に取り上げる。

どんぐりや松ぼっくりなどの秋の木の实を使って遊んだことがあるかな？

どんぐりごまを作ったよ。

どんぐりや松ぼっくりを使っているいろいろなおもちゃが作れるんだね。自分も作って遊んでみたい。

松ぼっくりで、的当てやボウリングをしたよ。

### 【めあて】

秋さがしをして見付けた物や身の回りにある材料を使って遊んでみよう。

### 2 秋の自然物や身の回りにある材料を使って遊ぶ。

- 秋の自然物や身の回りの材料を用意し、じっくり関われる機会を設定する。



<様々な秋の自然物の用意>



<おもちゃ作りの様子>

- おもちゃを工夫して作ることへの興味や関心を確認したり、意欲を高めたりする言葉を掛ける。

最初いっぱいどんぐり入れたら、あまりいい音じゃなかったけど、数を減らしたら、かわいい音に変わったよ。

音が変わるなんてすごいことに気付いたね。おもしろい遊びになりそうだね。

### 3 気付いたことや今後やってみたいことを伝え合い、課題をつかむ。

- 一人一人の思いや願いを把握し、共有できるようにする。

〇〇くんのどんぐりを的に入れる遊びがおもしろそうだよ。

〇〇くんやってみて、他にもおもしろい遊び方した人いるかな。

私は、ペットボトルを倒すボウリングを考えたいよ。

おもちゃでもっといろいろな人と遊んでみたいな。

おもちゃのお店を開きたいな。

- 児童の気づきを板書し、可視化する。

### 【単元の課題】

年長さんを招待して、自分たちで作ったおもちゃを使って遊びの会を開こう。

### 4 本時の学習の振り返りをする。

- 本時の活動を振り返り、気付いたことや感想などを発表させる。

次の時間は、どんなおもちゃを作りたいか、どんなお店にしたいか考えよう。

年長さんが楽しんでくれるおもちゃを作りたいな。

どんぐりで飾りを作って年長さんがわくわくするお店にしたいな。

## 小学校 第2学年 「つたわる 広がる わたしの生活」

### 【ねらい】

これまでの学習で関わった地域の人々について、心に残ったことを振り返ることを通して、他の人に伝えたいという思いをもつことができるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 地域で関わった人々のことをこれまでの学習で残してきた記録カードや作品などを見ながら想起させる。

これまでたくさんの地域の人々と関わってきましたね。地域で誰と関わってきましたか？

おかしやの〇〇さん。 けいさつしよの〇〇さん。

もっといろいろな地域の人に出会ってきたよ。

### 【めあて】

これまでに関わった地域の人々について話し合おう。

### 2 これまで関わった地域の人々について、心に残っていることを紹介し合う。

- これまでの学習で関わった地域の人々を思い出し、自分の心に残っていることをカードに書かせる。
- 心に残っている理由（わけ）も考えさせる。

〇〇さんが作るおかしはとてもおいしい。

〇〇さんは、八木節踊りがとても上手だったな。

地域には、素晴らしい人がたくさんいますね。

### 3 これまで関わった地域の人々について伝え合い、課題をつかむ。

- 少人数でグループを編成し、互いに心に残っている地域の人々について伝え合う場を設定する。

それは知らなかったな。

けいさつしよの〇〇さんは、一人暮らしのお年寄りの家の訪問もしているんだよ。

とうふやの〇〇さんは、朝4時に起きてとうふを作っているんだって。

- 伝え合いの様子を観察し、児童のつぶやきなどを捉え、振り返りの場面で全体で共有させる。

グループで伝え合っている時に、〇〇さんがこんなことを話していましたよ。

もっと地域の人を知りたいな。

地域の人のすごいところを誰かに伝えたいな。

- 児童の気づきを板書し、可視化する。

### 【単元の課題】

地域で働いている人のすばらしさを、家の人など身近な人々に発表しよう。

### 4 本時の学習の振り返りをする。

- 本時の活動を振り返り、気付いたことや感想などを発表させる。

次の時間は、どんなことを伝えたいか考えよう。

おかしがおいしい秘密を調べて伝えたいな。

けいさつしよの仕事についてみんなに伝えたいな。

## 2 単位時間の作り方（「はたらきかける」過程）【例】

「はたらきかける」過程では、前時の振り返りを基にめあてを設定し、活動の見通しをもたせるとともに、体験活動と表現活動を繰り返して、気づきの質を高めていきましょう。内容によっては、単位時間が複数時間にまたがる場合があります。

### 【指導のポイント】

#### 【めあての設定】

○「はたらきかける」過程においては、児童の具体的な活動や体験、気づきを交流する活動についての設定が多くなる。

<例>

- ◆「〇〇をたんけんしよう」
- ◆「〇〇をつくろう」
- ◆「〇〇であそぼう」
- ◆「〇〇をつたえよう」など。

#### 【多様な学習活動の設定】

○気づきの質を高められるように以下のことができる活動を設定する。

<例>

- ◆見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなど。

#### 【児童が工夫したくなるような材料等の準備】

○児童の発達の特徴を踏まえ、可塑性のある材料や様々な形や色の材料、いろいろな種類の道具を準備する。

<例>

- ◆粘土、ゴム、空き箱、画用紙、ひも、カッター、ガムテープ、接着材など。

#### 【言葉掛けの援助】

<例>

- ◆「なんで？ どうしてそう思ったの？」
- ◆「どうしたらもっと〇〇になるかな。」
- ◆「自分の考えと比べてどうかな。」
- ◆「どうして〇〇になったのかな。」
- ◆「〇と△は関係があるかな。」
- ◆「何に似ているかな？」
- ◆「同じ(似ている、違う)ところはどこかな。」  
など。

#### 【振り返りの工夫】

○次時への思いや願いをもてる振り返りの視点を示す。

<例>

- ◆もっと楽しくなるために工夫すること
- ◆もっと調べたいこと など。

○児童の発達の特徴を踏まえ、言葉だけでなく絵で表現するなどの振り返りカード等を準備する。

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- 前時までの学習を想起できるよう、前時に使った具体物や掲示物、板書をまとめたもの等を提示する。
- 振り返りカード等を基に、本時の活動に対する児童の思いや願いを確認させる。
- 学習のめあてを、児童の思いや願いを踏まえて設定する。

#### 【めあて】

#### 2 具体的な活動や体験をする。

##### 【学習対象と関わる】

- 対象にじっくり関わったり、繰り返し関わったりする時間を十分確保する。
- 動きやすく安全な空間を設定する。
- 児童が工夫したくなるような材料や道具を準備する。
- 児童の内面を押し量り、一人一人の思いや願いが実現できるような適切な援助をする。

#### 3 気付いたことや考えたこと表現し、伝え合う。

- 気付いたことや考えたことを、児童に絵や文章、動作等で表現させる。
- 気付いたことを発表し合わせるとともに、学級全体で気づきを共有する場を設定する。
- 児童が気づきを自覚したり、新たなことに気付いたり、気づきを関連付けたりすることができる言葉掛けの援助をする。

##### 【再び学習対象と関わる】

#### 4 本時の学習の振り返りをする。

- 本時の活動を通して気付いたことや感想などを振り返りカードに書かせる。
- 児童の気づきを板書し、可視化する。
- 思いや願いをもち、次時への意欲につなげられる言葉を掛ける。

#### 単位時間の振り返り

## 小学校 第1学年 「つくろう あそぼう」 【ねらい】

作ったおもちゃで実際に遊ぶことを通して、「年長児に楽しんでもらう」という観点で、より楽しいお店にするための工夫を考えることができるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 単元全体のめあてや、前時までに行ってきたことを想起させ、年長児が楽しめるように、「おもちゃ」「遊び方のルール」のよいところや工夫した方がよいところを見つけ、伝え合うことを確認させる。

#### 【めあて】

年長さんが、もっとわくわくするお店にしよう。

- 活動の仕方を掲示し、活動の順序を確認するよう促す。

#### <おみせやさん>

- 1 あいさつ
- 2 あそびかたをせつめいする
- 3 おみせをひらく
- 4 あいさつ
- 5 「わくわくカード」をかく

#### <おきやくさん>

- 1 あいさつ
- 2 せつめいをきく
- 3 あそぶ
- 4 あいさつ
- 5 「わくわくカード」をかく

### 2 お店を開き、遊んでもらうことで、よいところや工夫するところを見つける。

- 困っていることについて、お店ごとに発表させてから、遊び始めるよう促す。

点数が見づらいかもしれない。どうすればいいかな？

- 年長児のことを考えているかを見て回り、必要に応じて具体的な言葉を掛ける。



年長さんが分かるようにするには、点数をどう直せばいいのかな。

### 3 気付いたことをカードに書いて伝え合う。

- 困っていることの解決策を発表させる。

年長さんが見やすいように点数を白い紙に書いて貼ったらいいと思います。



- 他に気付いたことも伝え合わせる時間をとる。



輪投げで遊んだとき、輪の針金の先がとがっていて危ないな、と思いました。

- 活動中に児童がつぶやいたことなどを伝える。

遊んでいるときに、〇〇さんがいいことを言っていたの。〇〇さん、発表してくれますか。



- 発表を基にお店ごとに次の時間に改善するところを確認してカードに記入させる。



### 4 本時の学習の振り返りをする。

- めあてを基に、本時の活動の振り返りをさせる。
- 本時の感想を発表し、次時への意欲や見通しをもたせる。

白い紙に点数を書けば、見やすくなって、年長さんも楽しんでくれるかな。



年長さんが痛くないように、針金の先にテープを巻いた方がいいね。



## 小学校 第2学年 「つたわる 広がる わたしの生活」 【ねらい】

感想や意見を伝え合う活動を通して、地域で働いている人のすばらしさを伝えるための新聞の改善点を考えることができるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 単元全体のめあてや、前時までに行ってきたことを想起させ、地域で働いている人のすばらしさを伝えるための新聞の改善点を考えることを確認させる。

#### 【めあて】

地域で働いている人のすばいところをもっと分かるようにするための方法を考えよう。

- 本時の見通しがもてる活動の流れや時間の目安を掲示する。

### 2 地域で働いている人について発表したり、発表を聞いたりする。

- 発表を聞く際には、ワークシートなどに気付いたことをメモするよう助言する。



### 3 気付いたことを伝え合い、それを基に、自分たちのグループの改善点を考える。

- 伝えたい内容について気付いたことを伝え合うよう促す。出された意見を整理して板書する。

新聞の内容で、もっと工夫できるところはありますか？



何の写真か、分かるかといよね。

地域で働いている人が、他にしていることも発表するのいいと思います。



地域で働いている人が知っていることを、もっと詳しく説明したらどうかな。



そのために、もう少し話を聞いてみよう。

- 話し合いの様子から、児童のつぶやきなどを把握し、振り返りの場面において全体で共有させる。

- 話し合ったことをグループのワークシートに書かせる。

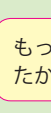
### 4 本時の学習の振り返りをする。

- グループごとに改善点を発表し、次時への意欲や見通しをもたせる。
- めあてを基に、本時の活動の振り返りをさせる。

グループの話し合いの時に、〇〇さんはこんなことに気付いていましたよ。いいところに気が付きましたね。



〇〇さんが、みんなのために一生懸命働いていることが伝わるように、努力していることをもっと詳しく書こう。



もっと写真を入れると伝わりやすいことが分かったから、次の時間に直せるように頑張ろう。



## 2 単位時間の作り方（「ふりかえる」過程）【例】

「ふりかえる」過程では、今までの活動や気付きをしっかりと振り返らせ、自分なりにまとめる活動を通して、自分の成長やよさを自覚させ、更なる成長への期待や意欲につなげましょう。内容によっては、単位時間が複数時間にまたがる場合があります。

### 【指導のポイント】

#### 【めあての設定】

○「ふりかえる」過程においては、今までの学習内容をまとめたり、調べてきたことを紹介したりする言葉が多くなる。

<例>

- ◆「〇〇についてパンフレットにまとめよう」
- ◆「〇〇について1年生にしようかいしよう」など。

#### 【これまでの活動を想起する環境づくり】

○今までの活動を可視化して提示する。

<例>

- ◆活動中の写真や動画
- ◆関わってくれた人の印象的な言葉や様子
- ◆蓄積してきた振り返りカード
- ◆活動の中で使ったものや作ったもの など。

#### 【まとめ方の工夫】

○児童の思いに沿って、様々な形でまとめ、表現することができるよう表現方法を選択させる。

<例>

- ◆絵本、新聞、巻物、劇 など。

#### 【気付きを自覚させる言葉掛け】

○教師が児童の気付きを認め、自分の成長やよさなどについて気付かせる。

<例>

- ◆「〇〇ができるようになったね。」
- ◆「友達に教えることができたね。」
- ◆「友達と力を合わせてできたね。」など。

### 基本的な流れ

#### 1 本時のめあてをつかむ。

- これまでの学習における一人一人の思いや願いなど、振り返りカードなどから把握しておく。
- 前時までの学習を想起できるよう、これまでの活動で使ったものや作ったもの、活動中の写真などを掲示する。(全体で)
- 学習のめあては、児童の思いや願いを踏まえて設定する。

#### 【めあて】

#### 2 一人一人が今までの活動や気付きについて振り返る。

- 活動してきたことを想起できる環境をつくる。
- これまでに使ったものや作ったものを見られるように提示する。(個別に)
- 今までの振り返りカード等を見返すよう促す。
- 頑張ったことやできるようになったことに気付かせるような言葉掛けをする。

#### 3 表現方法を工夫し、まとめる。

- 自分の気付きを自覚したり、考えを深めたり、新たな考えを生み出したりできる表現活動を設定する。
- 互いの気付きや考えを共有したり、関連付けたりできる機会を設定する。
- 充実した活動となるように時間を十分確保する。

#### 4 単元全体の振り返りをする。

- 自分の成長やよさなどについての気付きをもたせ発表させる。
- 全体で互いの頑張りを確認させ、更なる成長への期待や意欲につなげる。

単元全体の振り返り



## 小学校 第1学年 「つくろう あそぼう」 【ねらい】

これまでの学習を振り返り、感想を発表したり、ワークシートをまとめたりすることを通して、自分が頑張ったことに気付けるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- これまでの活動の写真を提示し、活動時の思いや願いを想起させる。

遊びの会で年長さんを招待して、自分たちで作ったおもちゃと一緒に遊んだね。



### 【めあて】

楽しかった遊びの会。今までのワークシートをまとめて振り返ろう。

### 2 これまでの活動について振り返り、交流する。

- 活動時の写真をお店ごとに準備し、次の視点で交流させる。



「気を付けたこと」「うまくいったこと」「年長さんの様子」についてまとめて発表しよう。

年長さんのみんなが楽しく遊べるように、ていねいに説明したよ。

友達からアドバイスをもらって直したらうまくいったよ。



友達と協力して準備できたから楽しい会ができたよ。



「楽しかった、ありがとう」って言われてうれしかったよ。



### 3 今までの活動について記録してきたワークシートを絵本や新聞などにまとめる。

- これまで蓄積してきたワークシートを絵本や新聞などにまとめていく中で、気づきを自覚させたり、新たな考えをもたせたりする。

ワークシートをまとめることで、今までの活動を思い出してみよう。



最初のころはうまく遊べなかったけど、〇〇さんが教えてくれて上手にできたんだ。



みんなで協力しながらおもちゃを作ったときが楽しかったな。



### 4 単元全体の振り返りをする。

- 交流したことやまとめて気付いたことについて自己評価を行い、次時への見通しをもたせる。



年長さんが「もう一度やりたい」って言ってくれて自信ができたよ。みんなで協力して頑張ったから楽しい遊びの会になったよ。



今までの活動を思い出しながらまとめることができたね。

次の時間は、できるようになったことやこれからやってみたいことを考えていきましょう。

## 小学校 第2学年 「つたわる 広がる わたしの生活」 【ねらい】

地域の人々との関わりやグループ活動、発表会を振り返ることを通して、分かったことや自分の成長で気付いたこと、これからやってみたいことについて考えることができるようにする。

### 1 本時のめあてをつかむ。

- 今までの活動や発表会の様子の写真を提示し、活動時の思いや願いを想起させる。

地域で働いている人のすばらしいところを伝えてきましたね。



発表会、おうちの人がたくさん来てくれたね。

### 【めあて】

地域で働いている人の学習を振り返り、できるようになったことやこれからやってみたいことを考えよう。

### 2 学級全体で発表会について振り返り、交流する。

- 発表会の写真や自分たちが作った新聞を見返し、感想を書き、交流させる。

地域で働いている人が一生懸命頑張ってくれているおかげで楽しく過ごせていることがわかったよ。



アドバイスをもらって直したら、分かりやすく発表できてうれしかった。



〈グループごとにつくった新聞〉

みんなたくさんの方に気付いたり、考えたりできたね。



### 3 地域で働いている人の紹介を通して、できるようになったこと、頑張ったことをワークシートにまとめる。

- 今まで記録してきたワークシートや写真、製作物を見返すよう促す。

- 「調べたこと」「まとめたこと」「紹介したこと」など活動全体を振り返り、自分の気づきや成長を自覚させる。



### 4 単元全体の振り返りをする。

- 単元全体の学習内容と照らし合わせながら、成長したことやこれからやってみたいことについて伝え合わせる。

自分が住んでいる地域の人のもっと知ることができたよ。



グループのみんなと協力することで分かりやすい新聞が作れたよ。



いろいろな人と話をして、自分が積極的になれたよ。



他のグループの発表を聞いて、そこに行きたくなった。



自分の知らないことをもっと調べて、いろいろな人に伝えたいな。



## 3 学習過程と教科書との関連

生活科の教科書は、はじめに学習対象と出合わせ、気付きの質を高める体験活動や表現活動などを見開きで示しているとともに、単元ごとに生活上必要な習慣や技能も示されています。単位時間のねらいや学習内容に応じて効果的に活用しましょう。また、幼稚園等や他教科とのつながりのある学習活動が示されています。指導計画を構想する際に参考にしましょう。

### 児童に興味・関心をもたせたり、生活上必要な技能を身に付けさせたりする際の活用

◎教科書にある児童のつぶやきや表情、歌などに着目させ、児童の意欲や想像力を高めましょう。

◎教科書にある約束などに着目させ、学習活動の留意事項を確認する際に、安全面や衛生面に対する児童の意識を高めよう。



### 児童に学習活動のイメージを持たせる際の活用

◎教科書にある活動の写真を活用し、学習活動の流れを視覚的に確認させ、見通しをもたせましょう。

◎教科書に載っている作品などを提示し、アイデアが思い浮かばない児童へのヒントや手掛かりとしましょう。

### 教師が指導計画を構想する際の活用

◎教科書に幼稚園等や小学校中学年との縦のつながり、同学年の他教科との横のつながりを意識した学習活動が示されています。児童や学校の実態、地域の特色を踏まえて指導計画を構想しましょう。

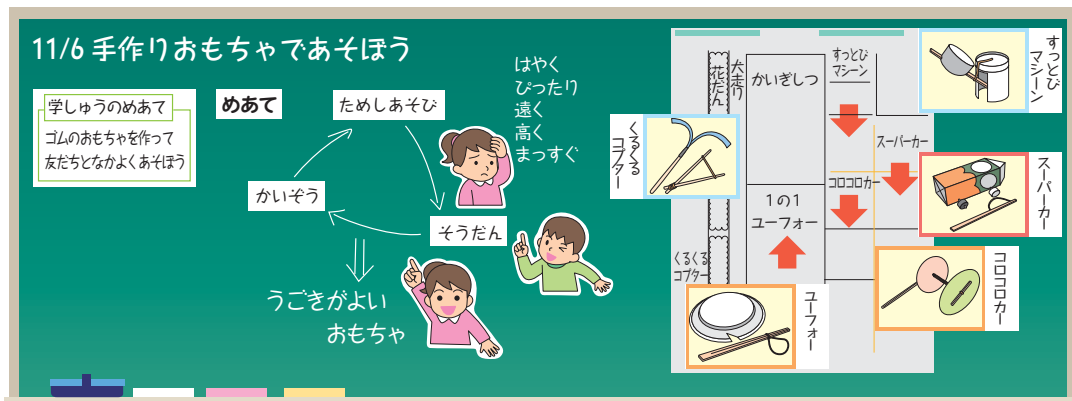
(例)・小学校がどんどこか年長さんを招待する。【幼稚園等との縦のつながり】

・生活科で気付いたことや伝えたいことを書いたり話したりする。【国語との横のつながり】

## 4 学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫【例】

困難さ	指導の工夫
言葉での説明や指示だけでは、安全に気を付けることが難しい場合	・説明や指示の意味を理解し、なぜ危険なのかをイメージできるように、体験的な事前学習を行う。
みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい場合	・大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるように、学習場面に即して、児童の生活経験等も踏まえながら具体的に教える。
自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難な場合	・児童がどのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいように、考える項目や順序を示したプリントを準備したり、事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現したりしてから文章を書かせる。
学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい場合	・学習経過を思い出しやすいように、学習経過などの分かる文章や写真、イラスト等を提示する。

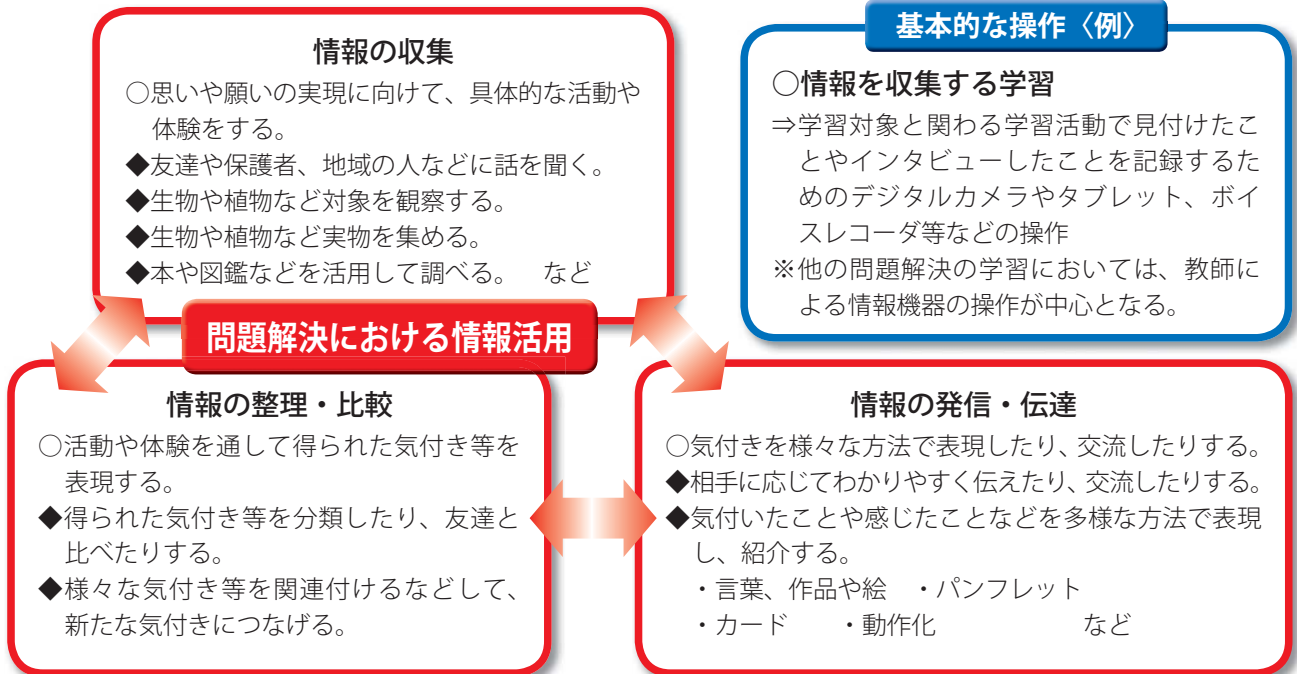
(例) 学習経過などの分かる板書例



## 5 情報活用能力の育成

生活科の学習における情報とは…学習対象に関する様子や内容等

〈例〉ドングリの特徴、アサガオの成長、自分自身や成長など



## 6 地域の人材や物的資源の活用

生活科の授業は、児童の身の回りの環境や地域を学習の対象とし、フィールドとしています。

学校においては、地域の特色を生かして様々な施設や地域の人と連携して授業を行うようにしましょう。

〈低学年に関わってほしい学習対象〉

- ①学校の施設 ②学校で働く人 ③友達 ④通学路 ⑤家族 ⑥家庭 ⑦地域で生活したり働いたりしている人  
 ⑧公共物 ⑨公共施設 ⑩地域の行事・出来事 ⑪身近な自然 ⑫身近にある物 ⑬動物 ⑭植物 ⑮自分のこと

内容	活用が考えられる地域の人材や物的資源	
	人材	物的
(1) 学校と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員・児童・保護者・交通指導員・警察官</li> <li>・給食センターの人々・旗振りの人</li> <li>・子ども110番の家の人・見守りボランティア</li> <li>・幼稚園等の職員・児童館の職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室・特別教室・校庭・教具・遊具・掲示物</li> <li>・自然物・通学路・信号機・歩道橋・横断歩道</li> </ul>
(2) 家庭と生活	<p>家族</p> <p>※家庭や児童のプライバシーを尊重、配慮し、家庭の理解と協力を得て、個々の家庭の状況を十分把握し、児童の実態を踏まえた適切な学習活動を行うようにすること。</p> <p>※他の内容との関連を図った活動を取り入れるよう工夫することが考えられる。</p>	/

内容	活用が考えられる地域の人材や物的資源	
	人材	物的
(3) 地域と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に住んでいる人々</li> <li>・地域で働いている人々・子供会・高齢者</li> <li>・地域にある幼稚園等の職員や乳幼児</li> <li>・交通指導員・警察官・旗振りの人</li> <li>・子ども110番の家の人・見守りボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街・公園・公民館・交番や派出所・病院</li> <li>・老人ホーム・図書館・児童館</li> <li>・田や畑・川・林・道路・信号機・横断歩道</li> <li>・歩道橋・駅・バス停</li> </ul>
(4) 公共物や公共施設の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の施設を管理する人・利用者</li> <li>・ボランティア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園・公園にある物・図書館・図書館にある本・博物館・博物館の展示物</li> <li>・道路標識・横断旗・公園・児童館・集会所</li> <li>・公民館・美術館・駅・バスターミナル・防災倉庫</li> <li>・避難場所・掲示板や掲示物・河川・広場</li> <li>・公共の交通機関</li> </ul>
※(1)、(3)と組み合わせて単元構成をすることも考えられる。		
(5) 季節の変化と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察指導員</li> <li>・季節や地域の行事を主催し、保存や継承に携わる人々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭や通学路の自然・地域の公園、川や土手、林や野原、山の自然 (生き物、草花、樹木、木の実、木の葉、水、氷、雨、雪、風、光など)</li> <li>・地域の季節の変化と関わりを持つ行事</li> </ul>
※(3)、(6)、(7)、(8)と適宜関連させ創意工夫のある指導計画を作成することが大切である。		
(6) 自然や物を使った遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・児童・地域の幼児・高齢者</li> <li>・自然観察指導員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然(草花、樹木、木の実、木の葉、石、砂、土、光、影、水、氷、雨、風など)</li> <li>・身近にある物(紙、ひも、ポリ袋、空き缶、空き箱、空き容器、ストロー、割り箸、ペットボトル、牛乳パック、紙コップ、トレイ、輪ゴム、磁石など)</li> </ul>
(7) 動植物の飼育・栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医師・近隣の農家の人・JA職員</li> </ul>	
(8) 生活や出来事の伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員・児童・地域の人・保護者・家族</li> <li>・幼児・高齢者・障害のある児童生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙・電話・ファックス</li> </ul>
※全ての内容との関連を図り、単元構成をしていくことが考えられる。		
(9) 自分の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・親戚の人・幼稚園等の教職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い頃に使った物・幼い頃の写真・幼い頃の作品</li> <li>・入学当初の書いた名前や絵</li> <li>・生活科の学習カード</li> </ul>

## 【参考】スタートカリキュラム

- ・小学校へ入学した子供が、保育所・認定こども園・幼稚園での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を充実させていきましょう。
- ・スタートカリキュラムの編成については、下記のアドレスにアクセスし、参考にしてください。

[http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=1427](http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1427)